

社会保障研究所日誌（昭和62. 4～昭和63. 3）

昭和62. 4. 14 定例役員会開催（第230回）

同 研究課題Ⅱ フランスの社会保障の研究会（第1回）会議の内容「研究のすすめ方について（全体討議）」

4. 21 研究課題Ⅳ 21世紀の社会保障に関する研究会（第1回）会議の内容「研究のすすめ方について（全体討議）」

4. 23 研究課題Ⅰ 西ドイツの社会保障の研究会（第1回）会議の内容「研究のすすめ方について（全体討議）」

4. 28 研究課題Ⅲ 高齢者の消費に関する研究会（第1回）報告内容と報告者「掛川調査における世帯分析」相模女子大学短期大学部講師 臼井和恵

5. 12 政策研究会（第1回）報告内容と報告者「社会福祉士および介護福祉士法案について」厚生省社会局庶務課課長補佐 紺矢寛朗

同 定例役員会（第231回）

5. 19 政策研究会（第2回）報告内容と報告者「社会保障をめぐるスウェーデンの政治機構」元外務省専門調査員 竹崎 孜

同 課題Ⅲ研究会（第2回報告）内容と報告者（1）「掛川調査分析にあたっての統計的吟味——主として重みづけの問題について」日本体育大学教授前田正久（2）「パネル分析にみる保健医療支出構造の変化」名古屋短期大学助教授 小野信幸

5. 23 課題Ⅳ研究会労働分科会（第1回）会議の内容「研究のすすめ方について（討論）」

5. 25 課題Ⅰ研究会（第2回）報告内容と報告者「西ドイツ社会保障の基盤」早稲田大学教授 大西健夫

5. 26 課題Ⅱ研究会（第2回）報告内容と報告者「フランス社会保障制度について」千葉大学教授 藤井良治

6. 4 課題Ⅳ研究会家族分科会（第1回）報告内容と報告者「現在の家族の動向」電気通信大学助教授 渡辺秀樹

6. 9 定例役員会（第232回）

6. 11 政策研究会（第3回）報告内容と報告者「住生

活向上への提言について——経済企画庁の研究会リポートを中心に——」経済企画庁国民生活局国民生活政策課課長補佐 小林 昭

6. 20 課題Ⅳ研究会健康分科会（第1回）報告内容と報告者「21世紀の社会保障財政」筑波大学教授 市川 洋, 青山学院大学助教授 牛丸 聡

6. 23 課題Ⅱ研究会（第3回）報告内容と報告者「フランスの医療制度——医療供給と医療保険制度」厚生省保険局医療課保険医療企画調査室長 大田 晋, 厚生省大臣官房国際課 伊奈川秀和

6. 29 課題Ⅰ研究会（第3回）報告内容と報告者「西ドイツにおける社会政策の体系と特色」日本社会事業大学教授 古瀬 徹

6. 30 課題Ⅲ研究会（第3回）報告内容と報告者（1）「年齢・居住形態別家計構造の変化について」共立女子短期大学助教授 馬場紀子（2）「高齢者の消費行動と社会保障」研究員 三上英美子

7. 3 課題Ⅳ研究会年金分科会（第1回）会議の内容「研究についての討論」

7. 6 課題Ⅰ研究会（第4回）報告内容と報告者「西ドイツ疾病保険制度の最新の動向」健康保険組合連合会社会保障研究室 高智英太郎

7. 7 課題Ⅱ研究会（第4回）報告内容と報告者「フランス社会保障の歴史」東京大学社会科学研究所助教授 田端博邦

7. 14 定例役員会開催（第233回）〈於全日空ホテル〉

7. 17 課題Ⅳ研究会労働分科会（第2回）報告内容と報告者「職業構造変革期の人材開発——構造失業時代への処方箋」経済企画庁総合計画局計画官 上野達雄

7. 19 課題Ⅳ研究会健康分科会（第2回）報告内容と報告者「技術開発と経済成長」一橋大学大学院 遠藤久夫, 「労働力と健康」研究員 三上英美子

7. 23 課題Ⅳ研究会家族分科会（第2回）報告内容と報告者「児童福祉とこれからの家族」日本総合愛育研究所研究5部長 網野武博

7. 24 政策研究会（第4回）報告内容と報告者「アメリカの老人・身障者の住宅政策」USA Urban Institute 所長 レイモンド・ストライク

7. 28 政策研究会（第5回）報告内容と報告者「国民医療総合対策本部「中間報告」について」厚生省大臣官房政策課調査室長 荻島國男

8. 14 課題Ⅳ研究会福祉サービス分科会（第1回）報

- 告内容と報告者 (1)「各国の老人保健医療政策の現状」健康保険組合連合会社会保障研究室 矢野 聡 (2)「長寿社会研究会について(討論)」
9. 7 課題Ⅱ研究会(第5回)報告内容と報告者「フランスの老人福祉」群馬大学助教授 松村祥子
9. 8 定例役員会開催(第234回)
- 9.11 課題Ⅳ研究会年金分科会(第2回)報告内容と報告者「昭和59年度年金財政再計算」総理府社会保障制度審議会事務局年金数理専門官 花田 恭
- 9.29 課題Ⅲ研究会(第4回)報告内容と報告者「家計の構造と家計費の構造——家計の分離とかかわり——」共立女子大学講師 御船美智子, 大正大学助教授 岸 功
- 10.1 課題Ⅳ研究会家族分科会(第2回)報告内容と報告者「税制および社会保障制度における家族のとり扱いについて」研究部長 都村敦子
- 10.13 課題Ⅱ研究会(第6回)報告内容と報告者「フランスの社会保障の最近の動向——家族政策および医療政策を中心に——」千葉大学教授 藤井良治
同 課題Ⅲ研究会(第5回)報告内容と報告者(1)「掛川家計の基本的構造とその位置づけ」日本体育大学教授 前田正久, 学習院女子短期大学教授 湯本和子 (2)「高齢者の生活費と収入の関係について」主任研究員 大本圭野
同 定例役員会開催(第235回)
同 機関誌編集委員会開催〈霞が関東海クラブ会議室〉
- 10.20~23 社会保障研究所基礎講座(第23回)開催〈こまばエミナース〉
- 10.27 課題Ⅳ研究会計量モデル分析分科会(第1回)報告内容と報告者「社会保障計量モデルの再検討」大正大学助教授 岸 功
- 10.30 課題Ⅳ研究会健康分科会(第3回)報告内容と報告者「成熟社会の医療政策——イギリスのヘルスケアポリシーを中心に——」慶応義塾大学医学部専任講師 池上直己
- 11.10 課題Ⅳ研究会全体会議(第2回)会議内容「各分科会幹事による進行状況報告」
同 課題Ⅲ研究会(第6回)報告内容と報告者(1)「高齢者夫婦世帯の家計構造の変化」実践女子大学教授 伊藤秋子, 十文字学園女子短期大学助教授 横田 京, 東京家政学院大学講師 上村協子 (2)「高齢者世帯の食料費の分析」横田 京
- 11.12 政策研究会施設見学(世田谷区立高齢者センター新樹苑訪問)
- 11.16 課題Ⅳ研究会健康分科会(第4回)報告内容と報告者「わが国における在宅・地域ケア・リハビリテーションの可能性と限界」日本福祉大学教授 二木 立
- 11.17 課題Ⅱ研究会(第7回)報告内容と報告者「フランスの現代財政」大阪学院大学教授 矢野秀利
- 11.24 公開研究報告会(第26回)開催 テーマ『社会保障と住宅』レポート:「住宅政策と福祉」中央大学教授・社会保障研究所専門委員 丸尾直美, レポート:「住居基準の国際比較」神戸大学教授 早川和男, レポート:「固定資産の分布と在宅サービスの利用」国際基督教大学教授 村上雅子, レポート:「高齢者の生活保障と住居」社会保障研究所主任研究員 大本圭野〈於健保会館〉
- 11.26 政策研究会(第6回)報告内容と報告者「在宅の身体障害者の実態調査結果について」厚生省社会局更生課 河野康徳
- 11.27 課題Ⅳ研究会年金分科会(第3回)報告内容と報告者「リプレイズメント・レイシオについて」青山学院大学助教授 牛丸 聡
- 11.30 課題Ⅰ研究会(第5回)報告内容と報告者「ドイツ家族政策の基本理念——ドイツ社会政策序論として——」西ドイツ・ドルトムント専門大学教授 カメダ・ディーター
- 12.8 定例合同役員会開催(第236回)
- 12.15 課題Ⅱ研究会(第8回)報告内容と報告者「フランスの住宅政策と住宅保障」東京大学社会科学研究所助教授 原田純孝
同 課題Ⅲ研究会(第7回)報告内容と報告者「2時点比較による高齢者世帯の生活変化」日本女子体育大学助教授 宇野正道
- 昭和63.1.12 課題Ⅱ研究会(第9回)報告内容と報告者「フランスの失業保険制度」総務庁人事局調査官 大久保良香
- 1.19 定例役員会開催(第237回)
- 1.21 政策研究会(第7回)報告内容と報告者「厚生省政策ビジョン研究会の提言について」厚生省大臣官房政策課調査室長 荻島國男
- 1.26 課題Ⅱ研究会(第10回)報告内容と報告者「フランスの年金制度」(1)「公的年金」奈良女子大学助教授 木村陽子 (2)「企業年金」調査部長

堀 勝洋

同 課題Ⅳ研究会家族分科会（第3回）報告内容と報告者「老人の介護と家計」長野大学教授 萩原清子，千葉大学助教授 宮本みち子

同 合同（専門・編集）委員会開催

2. 5 課題Ⅳ研究会年金分科会（第4回）会議内容「来年度の研究について（討論）」

2. 9 社会保障研究所シンポジウム開催（第22回）テーマ『社会福祉改革をめぐる基本的視点』レポート：「社会福祉概念の検討と“公私”問題」法政大学教授 大山 博，レポート：「社会福祉事業法改正の基本論点——社会福祉の範囲をめぐって——」日本社会事業大学教授 京極高宣，レポート：「福祉サービスの性格と有料対無料」大阪府立大学教授 大野吉輝，コメント：日本社会事業大学教授・社会保障研究所参与 三浦文夫，社会保障研究所調査部長堀 勝洋，司会：社会保障研究所長 小山路男〈健保会館会議室〉

2.16 課題Ⅱ研究会（第11回）報告内容と報告者（1）「フランスの政治・行政について」内閣法制局参事官 粥川正敏（2）「フランスの地方自治について」厚生省社会局保護課課長補佐 田坂 治
同 定例役員会開催（第238回）

2.23 課題Ⅱ研究会（第12回）報告内容と報告者

（1）「フランスの労災補償制度について」東北大学助教授 岩村正彦（2）「フランスの公的扶助(1)歴史と法制」厚生省統計情報部管理企画課 小野暁史

2.29 課題Ⅰ研究会（第6回）報告内容と報告者「西ドイツの老人介護政策と費用負担問題」研究員 栃本一三郎

3. 3 課題Ⅱ研究会（第13回）報告内容と報告者

（1）「フランスの公的扶助(2)財政」主任研究員城戸喜子（2）「フランスの児童福祉」日本女子体育大学助教授 宇野正道（3）「フランスの社会手当」研究部長 都村敦子

3. 7 課題Ⅰ研究会（第7回）報告内容と報告者「社会政策の当面する課題」在日西ドイツ大使館参事官 ライナー・チェネック

3. 8 政策研究会（第8回）報告内容と報告者「厚生白書（昭和62年版）について」厚生省児童家庭局児童手当課長 萩島國男

同 定例役員会開催（第239回）

3.22 課題Ⅳ研究会全体（第3回）会議の内容「（1）昭和62年度の研究成果について（2）昭和63年度以降の研究の進め方と報告書のまとめ方について」